



新潟市西区自治協議会広報紙

区を豊かに

2015年 10月1日発行 第15号

発行所 新潟市西区自治協議会 会長 岩協 正之
事務局 〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号

西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟スイカ、赤塚大根、くるさき茶豆、佐渡の白鳥、その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽を載せました。



JR越後線が最も美しい駅 内野西が丘駅から海へ向かって10の自治町内で構成され、総世帯数3450余、今でもその数は増え続け、子どもたちのにぎやかな声が聞こえています。
少いでも住みよくしつづつ、西内野コミュニティ協議会が中心となり、皆でアイデアを出し合い、夏の盆踊り、秋の夜間防犯パトロール、冬のもちつき大会などの他、地域の畑作業体験、パバカアツ講座、吹奏楽団など特色ある活動を行い、地域同士、住民同士の融和の輪を広げています。



(会長 猪爪 衛)



農園？遊園？公園？

坂井輪地区公民館から西大通りに向かうと、越後線に「農園踏切」の表示板がある。現在の寺尾中央公園が農園であった名残である。
昭和23年、新潟交通のグループ会社であった浦洪農園が買い付けた5万球のチューリップ球根がさばけないことになり、所有していた寺尾の「農園」に植えた。翌年には見事な花が咲き、見物客も多く来て弁当売りまで出たという。そこで、昭和



とっておきの私の一枚
・タイトル 我が家の消費電力・熱中症対策
・一言コメント 可愛らしい赤い実のなる「リュウキュウスズメリ」でグリーンカーテン。西日の当たる窓に毎年ふら下げていますが、エアコンの節約に寄与しています。来年はぜひ、皆さんもお試しください。
・氏名 岡村 憲風



人気の豆電車が走っていた「新潟遊園」時代



26年の長岡博覧会で好評だった豆電車、飛行塔、ブランコ、滑り台等々を譲り受け、家族連れでも楽しめるように「新潟遊園」と「新潟遊園」を造った。入場料は大人10円、子ども5円。小学校や幼稚園の遠足の間として大人気を博し、大いに利用された。

当時はまだ路線バスの便が少なく、専ら越後線が足であった。「農園踏切」を回らずとも、駅員の誘導で線路を横切り、今も残る木道の階段を上る近道(写真)で遊園に向かった。
その後、時代の変遷に伴い利用客が減少し、昭和50年ごろ閉園したが、数年後に新潟市が用地を購入し、「寺尾中央公園」として整備した。
現在は、朝のラジオ体操や散歩などの場としても親しまれて

(鍋谷 總子)

カレンダー発行のお知らせ
西区特産物・観光地カレンダーができました！
10月23日から、市内公共施設に来年1月始まりのカレンダーを設置します。自治協委員が作成したカレンダーをぜひお持ちください。
★1面で紹介した「第3回西区アートフェスティバル」でも配布します★

第3回 西区アートフェスティバル

～音楽の力、西区の宝～

「年代別の層の厚さと学びの深さに感動し、西区の力を確認しました」
昨年のアートフェスティバルにてアンケートにお答えいただいた方からの感想のひとつです。参加した644人の方の満足度も高く、ぜひとも継続してほしいと多くの方からご要望をいただきました。そこで、今年も第3回となるアートフェスティバルを開催します!!
秋の一日を音楽とともに楽しみてください♪

日時 平成27年10月25日(日) 午前10時～午後4時

会場 黒崎市民会館 1階ホール ※参加費無料

出演団体

- 1 笠木小学校 (樽太鼓)
2 西内野コミ協吹奏楽団 (合奏)
3 小針中学校合唱部 (合唱)
4 アロハ・メイツ (合奏・舞踊)
5 新潟ジュニアウインドアンサンブル (合奏)
6 佳月会 (民謡)
7 新潟清心女子中学・高等学校合唱部 (合唱)
8 大野甚句サーアー・キッズ (民謡)
9 三津美会 (舞踊)
10 日本文理高校チアリーディング部 (チアリーディング)
11 T-ROOP DANCE COMPANY (ダンス)
12 コーラス円 (合唱)
13 オカリナサークル風人 (合奏)
14 新大室内合唱団・カンマーコール (合唱)
15 坂井輪中学校吹奏楽部 (合奏)



「素晴らしい演奏・素晴らしい活動・素晴らしい音楽会」「芸術性の高さが実感できた」



「元気をもらった」「区民の交流の場になってほしい」「楽しくて感動した」「とても楽しい一日でした」

★写真、感想は第2回アートフェスティバルより

主催：西区自治協議会
※問い合わせは、ページ上部の事務局まで

編集後記

自治協が行つ事業や検討している課題をお伝えする広報紙を今回も発行することができるとしてあります。編集メンバーも変わり、新たな編集体制でお届けしています。
みなさんの手に届き、お読みいただけるのを幸いです。
(三村瑞枝)

募集しています

広報紙や自治協議会活動についてのご意見
◆ 送付先/住所・氏名・連絡先をお書き添えの上、広報紙1面の「事務局」あてに送付を。郵送または電子メールにてお願ひします。
とっておきの私の一枚
◆ あなたの「自慢の写真」(家族・ペット・風景・イベント等)に住所・氏名(氏名は必須)、ペンネームがあればペンネーム掲載・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えてご応募ください。電子メール可。◆ 採用者には千円の図書カードを贈呈。◆ 応募された写真は返却しません。◆ 締め切り11月末日(次号掲載予定)。◆ 送付先/広報紙1面の「事務局」あて。

● 防災講演会

防災公開授業 地震や津波に備えて ~みんなができること~

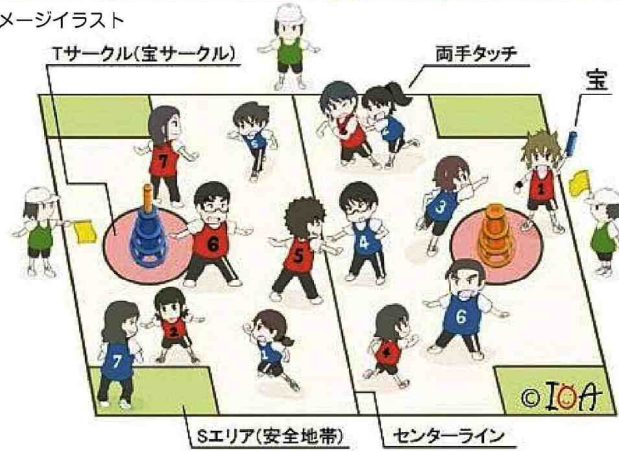
地震・津波などの防災は、安心安全なくらしの要であり、日常生活の課題となっています。東日本大震災では、防災教育の必要性が実践を通して教訓となりました。災害時、子どもたちが、地域と協力して行動し、被害を最小限に抑えるために必要なことは何かを学びます。

講師 危機管理教育研究所 代表 国崎 信江さん
日時 11月30日(月) 午後2時30分~3時50分
会場 新潟市立五十嵐中学校体育館
対象 真砂小学校、五十嵐小学校5・6年生、五十嵐中学校1年生
※保護者の方や地域の方も参観できます。
※会場に駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。
主催 西区自治協議会



「スポーツ鬼ごっこ」で子どもも大人も集まれ!

イメージイラスト



「スポーツ鬼ごっこ」はもとも、肥満や運動が苦手な子どもたちでも積極的に運動して、遊べる遊びではないかと考案されました。日本人のポピュラーな遊びで、かつ誰もが知っている「鬼ごっこ」に着目し、子どもたちも大人も「鬼ごっこ」を

知る大人たちも、「コミュニケーション」のできるスポーツ競技として生まれ変わったのです。ルールは非常に単純で、旧来の「鬼ごっこ」を基本に、時間内に相手陣地の「宝」を多くとった方が勝利するといったシンプルなもの。チームのメン

バーが自発的に攻守の切り替え・役割分担・時間配分など、作戦を話し合うことにより、自然とコミュニケーションの取り方を学んでいきます。すでに西区では、「スポーツ鬼ごっこ」を取り入れている団体もあります。地域の交流、つながり、また人間関係の構築に、これから西区自治協議会でも体験や大会開催を計画していますので、是非ご参加ください。

● 教育ミーティング

平成27年度第1回西区教育ミーティング

この秋、新潟市西区では「平成27年度西区教育ミーティング」を開催します。新潟市では、8年前から地域と学校の連携を目的とした「パートナーシップ事業」「ふれあいスクール事業」を行っており、この度の教育ミーティングもその一環として行われるものです。

第1回は、9月に「西区の学・社・民の教育の取組について」というテーマで議論しました。

11月には第2回の教育ミーティングを開催します。教育関係者はもちろん、ぜひ、多くの地域住民の方もご参加ください。

日程

日時 平成27年11月25日(水) 13:30~15:00
会場 西区役所健康センター棟1階大会議室
対象者 自治協議会委員
※委員でない方も会議の様子を傍聴できます。(申込不要。当日会場へお越しください)
参加費 無料



昨年、高齢化をテーマにした講演会「在宅ひとり死は可能か?」を開催し、区民のみなさんの関心の高さをうかがうことができました。昨年に引き続き、今年も9月に高齢化をテーマにした講演会「100歳までボケない101の方法」を開催しました。

西区自治協議会提案事業
白澤卓二講演会

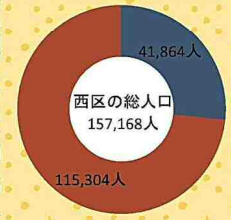
「100歳までボケない101の方法」
~元気で100歳を迎えるために~

右の田代グラフは、西区の人口構成を示したグラフです。西区の高齢化率は26・6%。27・3月現在、4人に1人が高齢者という状況ながら、今後10年の間に、さらに高齢化率が上昇する推移を示したグラフも発表されています。(下記グラフ参照)

そんな中、高齢者が増えることで、要介護者数や認知症の症状を発症する方の増加が懸念されています。

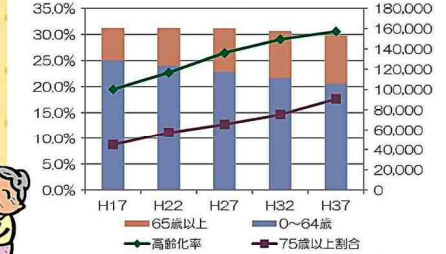
昨今の新聞やニュースの中で、「認知症の高齢者が徘徊し帰宅できず、交通事故で亡くなってしまう」「徘徊後、保護されたが認知症のため元が証明できず、家族と連絡がとれずにいる」など、認知症がきっかけとなった事故などの記事を目にするのも多くなりました。

グラフ1 西区の人口



■ 65歳以上の人口 ■ 65歳未満の人口

グラフ2 西区の高齢化の推移



【資料: H22国勢調査を基準として推計】



9月6日(日)、黒崎市民会館において順天堂大学大学院白澤卓二教授をお迎えし、講演会を開催しました。西区生活改善推進委員の協力を得て、講演の効果が期待できるレシピ「玉ねぎとにんじんのスープ」を来場者先着100名に試飲していただきました。

講演の中で、年とともに老いを認識しながら社会生活に適應し、豊かな老後を迎えるために必要なことは、自分の足でしっかりと立つこと、脳がもつてきた機能をしっかりと判断できること(認知機能)の二点であり、これができなければ、おのずと介護が必要

これらをつまみえ、人生の後半を白からしく生き、家族や地域の中で穏やかに過ごすためにどうすればよいかを学ぶ場の提供ができないかと考え、この度、長寿遺伝子研究で著名な白澤卓二教授をお迎えし日常生活で実践できる認知症予防実践策を学び、健康長寿のきっかけとなる講演会を実施しました。



講演の様子

健康長寿のきっかけに

楽しみながらいきいき過ごす豊かな老後

要となってくるお話がありました。

また、健康長寿で過ごすためには、目的や趣味を持ち、カロリーを重視する食事よりも、質の良い栄養(カルシウム・タンパク質・ミネラルなど)をしっかり摂取することが大切であることや、認知症やアルツハイマー病などの予防・改善の効果を期待できる食材なども、データや具体例を交えて紹介されました。

食生活を見直し、生活を楽しくしながらいきいきと過ごすために、普段の生活の中で、取り入れてみてはいかがでしょうか。



ご協力いただいた食生活改善推進委員